

(別紙2)

ミシガン大学家庭医療科における選択ポリクリへの応募について

2025年1月

浜松医科大学地域家庭医療学講座

特任教授 井上 真智子

米国の家庭医療は専門診療科として50年以上の歴史があり、USMLEでも必修試験科目の一つに入っています。ミシガン大学の家庭医療科実習では、現地医学生と同様に家庭医療クリニックの外来診療でプリセプター（指導医）から1対1で指導を受けることで実践的な学びの経験を積むことができます。主たる実習場所は、現地在住の日本人も多く受診するクリニックで、英語・日本語の両方で対応が行われており、日本人医学生の留学先として大変人気となっています。

そこで、ミシガン大学家庭医療科における実習を行うことを希望する場合、単に「米国で臨床留学をしたい」という理由では受け入れがなされていません。また、2020年からは実習指導料として1週あたり500ドルをミシガン大学へ支払うことが求められています。

そこで、浜松医科大学では、選択ポリクリでミシガン大学の家庭医療科を行うことを希望する学生に対し、①将来的に家庭医療・総合診療を進路に選択する強い意思があることを確認の上、②希望者には2週間の実習指導料を地域家庭医療学講座から補助することにしました（10万円）。

以下のプロセスで、学内の応募、選考、推薦者の決定を行います。その後、ミシガン大学への応募（履歴書、Personal statement、推薦状等の提出）を行うこととなります。

A. 応募

ミシガン大学家庭医療学講座での実習に申込みを行う者は、将来、家庭医療科・総合診療科に進む強い意思のある者に限ります。

2025年4月4日（金）までに、下記を提出してください。

①志望動機書（1500-2000字程度）

1) 志望の理由、2) 自己アピール、3) 将来の進路についての考えを記載

②英語力を証明する書類（IELTSスコアなど）（コピー可）

次に講座教員との面接で、志望動機について述べてもらいます。選考の上、地域家庭医療学講座としての推薦者（0～2名）を決定します。

B. 留学前の準備（少なくとも下記のどちらかを行う）

1) 日本プライマリ・ケア連合学会の学術大会（例年5～6月開催）もしくは学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー（例年8月開催）に参加する。

2) 必修ポリクリでの家庭医療実習に加えて、夏休みや選択ポリクリ期間に他の診療所・病院実習に参加して、理解を深める（実習場所は希望に応じて紹介します）。

C. 留学後には英語または日本語での学術発信

留学で得られた視点に基づいて、英語または日本語で、学術誌へのレター投稿、医師会報への投稿を少なくとも一つ実施する。

※ 2022年の実習申込みより適用されます。不明な点は問合せてください。

※ 参考) 過去のミシガン大学実習の報告が、講座のブログ (<https://hamamed-familymedicine.jp/blog/>) に掲載されています。

2024年の実習生による報告

<https://hamamed-familymedicine.jp/blog/2024/06/00032/>

<https://hamamed-familymedicine.jp/blog/2024/07/00031/>

<https://hamamed-familymedicine.jp/blog/2024/07/00034/>

【相談先】

地域家庭医療学講座 TEL : 053-435-2416

メール : machiko@hama-med.ac.jp (井上)

fammed@hama-med.ac.jp (講座)